

みなさんこんにちは、いつも白衣の恵子先生です。今年度の必読図書は読み終えましたか？みなさんの学級文庫には今どんな本が置いてありますか？担任の先生が読んでほしいなという本が置いてあると思います。そういったところからも担任の先生の想いを感じることができますね。先生が担任をしていたときに学級文庫の中に齋藤孝著書の『友達がいないと不安だ症候群につける薬』という本があります。『友達がいないと不安だ症候群』という病名を付けてしまうところも齋藤先生の言葉遊びの面白さです。彼はその本の中で、こんなことを言っています。

「友だち力」というのは、友達関係の距離を自分でコントロールできる力です。それは友だちを作る力とは少し違う。時には離れることも良しとします。『友だち力』は「ほどほど」がいい。「ほどほど」というのは、「適度に合わせて」という意味で、濃いときには濃い、薄いときには薄いという意味です。さらにひとりの時間を楽しめるようになることは大事なことです。ひとりでしか遊べないのは問題ですが、小さい頃からちゃんとひとり遊びができるというのは大事なことです。また、中学高校、大人になっていく過程でも、ひとりでいる時間というのは、必ずしも孤独感を伴うものではありません。そんなに寂しさを感じなくて、ひとりでいる時が快適に思えることもあります。孤独の時間というものを、もっと積極的に意義あるものにすべきです。(中略)ひとりの時間を楽しむ方法としては、読書や音楽や絵を描くことなども一般的な方法としてあります。

みなさんはいかがですか？ひとり時間を楽しむ方法をもっていますか？先生はヨガや読書、美術館巡りです。最近の図書館はおしゃれでカフェが併設されていたりするので、楽しみが増えました。図書館といえば、2年生が壬生町の図書館の見学を振り返って、お手紙を書いていたので、少し紹介しますね。

10月23日はありがとうございました。壬生図書館は本だけでなく、いろいろなCDやDVDがあることや本が16万冊もあったことにとても驚きました。壬生町の人たちのことを考えているなと思いました。また、いろいろなときに行くと思うので、新しい本やDVDを借りたいと思います。

僕がすごいと思ったことは昔の本を保管できるところがあったことです。また図書館に行きたいと思っています。

バスが1989年に生まれたことを初めて知りました。教えてくださりありがとうございました。

私は、図書館の2階に上がったときに右側を見てびっくりしました。なぜかというと、勉強ができる場所や本を読む場所がたくさんあったからです。それで図書館が好きになりました。また、図書館に行きたいです。

図書館の中を見て、本をキレイにできる機械のことを初めて知りました。まだ、自分では1回も行ったことがないので、行ける日があったら行きたいです。

様々なことに気づき、そこで働く人の想いも感じてこれたようですね。素敵な感謝の手紙でした。BMゆうがおも、皆さんのことを考えて本を選んでくれているのです。ちょっと難しい本にも粘り強く挑戦し、読書という本との対話を通して、様々な価値観に出会い、視野を広げてほしいと思います。読書のあとに感想を書くのは、本からの学びをもとに自分自身と対話することで、自分の心と向き合い、より深く自分自身を知ることができるからです。私ってこういうことに感動するんだあと。いろいろなことに興味や関心が湧くと、誰かと話したくなる。そして、それを語り合える「友だち」が自然と生まれます。本校の図書館で「この本面白かった」って〇〇先生に話すみなさんの笑顔はとっても素敵ですから。

そろそろお時間です。それではまた来週。See you next week! Have a nice weekend!!